

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-85	小学校	国語科	国語	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 405 国語 406	ひろがる言葉 小学国語 四上 ひろがる言葉 小学国語 四下		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法（第二条の第1～第5号）に示された「教育の目標」と、学習指導要領に示された「教科目標」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しています。

- ・身近な言語活動を通して、幅広い知識と教養を身につけます。
- ・自己の価値を尊重し、創造性を培います。
- ・公共の精神に基づいた、主体的な社会参画を促します。
- ・自然の仕組みを題材にした教材を通して、生命を尊び、自然を大切にする心を育てます。
- ・国際社会の平和と発展に寄与するとともに、我が国の伝統文化を尊重する態度を養います。

楽しく学び、言葉の力がつく教科書

言葉を豊かに学ぶことは、学び手が**主体的に言葉に関わり、言葉の力を協働的に獲得**していく行為です。

主体的に学ぶためには、そこに学ぶ楽しさがあるはずで、楽しみながら、心を育て、世界観を広げられる、**価値ある題材**との出会いを大切にして教材を選びました。

また、言葉を学ぶことは、単に技術を学ぶことではありません。自己を主体的に築くための母語を獲得し、協働的に生きていく民主的人格が育まれるためにも、**言葉の学びは必要**なのです。

これからの社会を生きる子どもたちは、さまざまな課題に直面します。多くの情報があふれる現代社会において、**情報とどのようにつきあっていくか、社会をいかに持続可能なものとしていくか、多様な人々が自分らしく生きる権利をどのように守るのか**。学び手が学ぶ楽しさを感じながら、言葉の力を獲得していくことで、これらの課題を解決する力を自ら獲得できるよう、この教科書を編修しました。



豊かな言葉の学びに向けた編修の特色

◇当該学年の学びのストーリーを大事にした教材配列

教科書を使って1年間の学習をしていくことは、学習者にとって、1年間の「言葉の学び」という物語の中を生きることです。それぞれの物語どうしが、学校という、**他者との協働の場**でいかされるように、それぞれの単元が相互に関わるように並べることで、**学習の流れや必然性を大切**にして、各領域が自然に結びつ

くようにこころがけました。

◇課題の設定、解決・探究ができる学習過程の提示と、効果的な学びを生むための重点過程の明示

各単元や教材の冒頭で学習意欲の喚起を行い、学習のてびきは、深い学びへと導くことを意識して構成しています。単元を通じて、学び手が、より能動的・探究的な学びができるような活動の流れをつくりました。

また、話す・聞く、書く教材においては、特に重点としたい学習過程を明示し、その単元の学びにおいてつきたい力がわかるようにしました。これにより学習指導の効率化が図れ、学習者にとっての効果的な学びを実現します。

◇思考力、判断力、表現力等と、それを支える知識及び技能の有機的な結合

領域の学習内容を豊かに学ぶための言語活動を、より活性化するための知識・技能を、単元間の小教材や付録で示しました。また、思考を整理したり、まとめたり、可視化したりするためのふせんやカード、ノートを使い方など、学習のツールを多く例示しました。

◇豊かな言葉の基礎となる読書教材、語彙教材の拡充

豊かな言葉の学習は、さまざまな本を読み、多様な言葉にふれることで広がります。各単元の学習から読書体験へとつながるよう、幅広いジャンルを対象として、紹介図書を充実させました。

また、日常の言語生活や他教科の学習での使用に資するよう、語彙を豊かにするための工夫もしています。

教材の選定について

◇日常の学習に活用

⇒『ぴったりの言葉、見つけよう』（四上）

『漢字辞典の引き方』（四上）

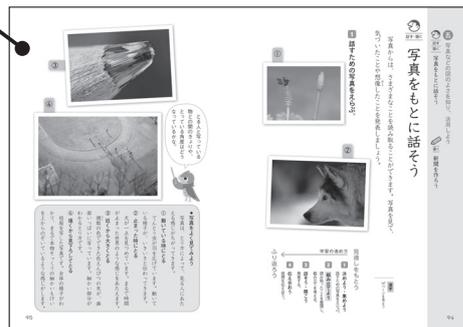


◇主体的な調べ学習、メディアリテラシー（ICT）

⇒『分類をもとに本を見つけてよう』（四上）

『写真をもとに話そう』（四上）

『調べてわかったことを発表しよう』（四下）



◇地域に根ざす

⇒『リーフレットで知らせよう』（四上）

『新スポーツを考えよう』（四下）

◇生き方を問う（平和・人権）

⇒『一つの花』（四上）・『ごんぎつね』（四下）

『木竜うるし』（四下）

◇持続可能な開発のための教育（ESD）

⇒『リーフレットで知らせよう』（四上）

『ウミガメの命をつなぐ』（四下）

『「便利」ということ』（四下）



◇言語文化

⇒『「月」のつく言葉』（四上）

『故事成語』（四下）

◇複数領域融合単元

⇒「写真などの図のよさを知り、活用しよう」（四上）

「自分の経験と結びつけて考えよう」（四下）

2. 教育基本法との対照表

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
言語・情報	<p>■四上 分類をもとに本を見つけよう 漢字辞典の引き方 写真をもとに話そう</p> <p>■四下 「不思議ずかん」を作ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『分類をもとに本を見つけよう』では、図書館の十進分類法による書物の分類方法を知る。分類記号を手がかりに本を探せるようになることで、幅広い知識と教養を身につけることができる。〈第1号〉 ●『漢字辞典の引き方』では、漢字辞典を使って調べる方法を知る。調べ方を知って、自ら調べることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養う。〈第1号〉 ●『写真をもとに話そう』では、写真を見て気づいたことや想像したことを発表することで、情報を整理して扱う力と真理を求める態度を養う。〈第1号〉 ●『「不思議ずかん」を作ろう』では、学校生活の中で日頃から不思議に感じているものについて調べて友達に伝える図鑑を作る。付属のコラム「じょうほうを集めて活用しよう」で、さまざまなメディアの特徴を知り、情報を集める際の助けにすることができる。〈第1号〉 	<p>上 P46-49, P54-57, P94-97</p> <p>下 P60-65</p>
	<p>■四上 漢字の広場① 漢字の部首／分類をもとに本を見つけよう／漢字辞典の引き方／短歌の世界／漢字の広場② 漢字の音を表す部分／漢字の広場③ 送りがなのつけ方／修飾語／「月」のつく言葉／4年生で読みたい本／言葉の木／言葉のまとめ／レモン自転車／漢字を学ぼう／三下までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉</p> <p>■四下 「読書発表会」をしよう／言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ／漢字の広場④ いろいろな意味を表す漢字／二つのことがらをつなぐ／故事成語／漢字の広場⑤ 熟語のでき方／点（・）を打つところ／雪／漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け／「百人一首」を読もう／4年生で読みたい本／言葉の木／言葉のまとめ／アンケートのとおり方／漢字辞典で遊ぼう／自分の考えを整理する／漢字を学ぼう／四上までに学んだ漢字／「ここが大事」のまとめ／学ぶときに使う言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『漢字の広場』①②③④⑤⑥では、部首や送りがなのつけ方、熟語の構成など、漢字を扱ううえで覚えておきたいことを短くまとめて示している。幅広い知識と教養を身につける助けとなる。〈第1号〉 ●「短歌」を伝統的な言語文化として取り上げている。万葉から近代までの作品例に親しませながら、1300年の時を超えた伝統のすばらしさにふれることができる。〈第5号〉 ●『修飾語』「点（・）を打つところ」は、言葉への認識を深め、幅広い知識、概念的な思考を身につけることができる。〈第1号〉 ●『「読書発表会」をしよう』は、テーマに沿って紹介したい本を複数選んで発表する。本の内容を紹介する際には、あらすじや、印象に残った言葉をあげるなど、要点を示すとともに、例文を添えている。例文は、日本や海外の笑い話や冒険の本の発表で他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを可能にしている。〈第5号〉 ●『言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ』は、言葉の音から想像されるイメージを想像し、言葉に対する感覚を磨き、豊かな情操を培う。〈第1号〉 ●『故事成語』では、五十歩百歩、漁夫の利、蛇足、矛盾など、よく知られた故事成語を扱い、伝統と文化を尊重する態度を育てる。〈第5号〉 ●『4年生で読みたい本』①と③では、神話・友情・家族・冒険・詩・戦争・科学など多岐にわたる分野の図書を紹介し、幅広い知識と教養を身につける手がかりになる。〈第1号〉 ●『4年生で読みたい本』②は、「科学が開く世界」をテーマに掲げ、動物や魚、昆虫の生態や、火山や月の観測など、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う図書を多く紹介している。〈第4号〉 ●『4年生で読みたい本』④は、耳や目や脚などに障がいをもって生活する方々の生き方を描いた書物を多く取り上げ、生命を尊び、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。〈第3号〉 	<p>上 P30-32, P46-49, P54-57, P64-69, P70-72, P102-106 P124-125, P132-133, P134-160</p> <p>下 P28-31, P32-35, P42-44, P58-59 P66-71, P78-80, P102-103, P110-111, P112-114, P154-182</p>
思考・判断・表現	<p>■四上 わたしは、だあれ メモの取り方をくふうして聞こう 「夏の思い出」記者になろう 写真をもとに話そう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「話すこと・聞くこと」の各教材は、社会形成に参画する基盤となるコミュニケーション力を養う。上巻冒頭に置く『わたしは、だあれ』は、物の名前を質問して当てるクイズ形式の言語活動をする。コミュニケーションを通して答えを探る活動が、自他を敬愛する態度を形成する。〈第3号〉 ●『メモの取り方をくふうして聞こう』は、校長先生が放送朝会で話す際に児童がメモを取りながら聞く場面を想定している。主体的に学校の企画に参加する態度を養う。〈第3号〉 	<p>上 P8-9, P50-53, P92-93, P94-97</p>

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
思考・判断・表現	<p>■四下 新スポーツを考えよう 身のまわりの「便利」なものを考えよう 調べてわかったことを発表しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『新スポーツを考えよう』は、地域住民のかたの参加するスポーツ大会で、どんなスポーツをするか話し合う。小さい子どもや体の不自由なかたにも安全で楽しめるルールを議論することが、地域の形成者としての視点を持ち、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第3号) ●『身のまわりの「便利」なものを考えよう』では、身のまわりの道具や設備に施されている工夫に目を向け、どんな対象者を意識しているかを話し合う。仕事と技術の積み重ねに助けられていることに気づくことで、勤労を重んずる態度を養う。(第3号) 	下 P36-41, P82-83, P94-101
	<p>■四上 ぴったりの言葉、見つけよう リーフレットで知らせよう 新聞を作ろう いろいろな手紙を書こう 「ショートショート」を書こう</p> <p>■四下 「不思議ずかん」を作ろう 自分の成長をふり返って</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『リーフレットで知らせよう』では、見学したり調べたりしたことをリーフレットにまとめて家や地域の人に知らせる言語活動を設定している。例にあげたごみ処理工場への見学によって、ごみの減量への取り組みや、環境に配慮した設備であることなど、得た情報を書く学習によって、勤労を重んじ、環境の保全に寄与する態度を養う。(第3号) ●『新聞を作ろう』は、写真や図表を効果的に用いて新聞を作る言語活動である。グループで協力して、調べることを決め、書くことを話し合い、記事の分担を決め、写真、図表、文字の割り付けを考えて新聞の形に作成していく学習を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号) ●『「ショートショート」を書こう』は、意外な組み合わせの言葉を作り、想像を広げて短い物語を作る学習で、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号) ●『「不思議ずかん」を作ろう』では、写真や図表を効果的に用いることに加え、難解な語句や専門用語に説明を加えるなど、図鑑を読む対象者を意識して、必要な情報の示し方を学ぶことで、社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養う。(第3号) 	上 P28-29, P58-63, P98-101, P122-123, P126-131 下 P60-65, P104-109
	<p>■四上 春のうた あり 白いぼうし ぞうの重さを量る 花を見つかる手がかり ぞろぞろ (落語) 一つの花</p> <p>■四下 ごんぎつね ウミガメの命をつなぐ いろいろな詩 おおきな木 とびばこ だんだん 「便利」ということ 木竜うるし (人形げき) 走れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●文学作品は、登場人物と一体になって、その行動や感情を追体験し、それによって得た感動が、豊かな情操や道徳心を育てる。こうした体験を可能にする作品として、『白いぼうし』『一つの花』『ごんぎつね』を選定した。(第1号) ●『白いぼうし』は、タクシーの運転手が乗せるお客さんをめぐるファンタジーである。場面の様子や登場人物の気持ちを想像して、豊かな情操を養う。(第1号) ●『ぞろぞろ』は、江戸の茶店のおじいさんと床屋の親方がそれぞれ、商売繁盛を観音様に祈願して、ぞろぞろとものが出てくる滑稽話である。古くより親しまれてきた落語を読んで、伝統と文化を尊重する態度を養う。(第5号) ●『一つの花』は、父が、一輪のコスモスを子どもに託して戦争に出征し、戻ることがなかった物語を読み、戦争と平和を考え、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号) ●『ごんぎつね』では、物語の展開を読み味わうことに加えて、彼岸花、松茸、栗など描かれている自然を十分に味わわせることで、自然を大切にすることを養う。(第4号) ●『木竜うるし』は、登場人物の一方には水底にある漆を独占する欲があり、もう一方には欲がない。両者のやりとりと、欲のある者が相棒に感化されて変わる姿が楽しめる。音読や、気に入った部分を文章化したりする学習を展開し、伝統と文化を尊重する態度を育てる。(第5号) ●説明的な文章の「読むこと」の教材として、『ぞうの重さを量る』『花を見つかる手がかり』『ウミガメの命をつなぐ』『「便利」ということ』を取り上げている。説明的な文章を読解することにより、論理的な思考力を養い、知識・教養を身につける。(第1号) ●『ぞうの重さを量る』では、頭注部分に「問題に出会う」「問題をつかむ」といった、文脈上の役割を紙面に示すことで、展開の道筋を把握しながら読解し、知識と教養を身につけることを助けている。(第1号) ●『花を見つかる手がかり』は、実験によって解明されたこと、されていないことを明らかにしながら、さらに実験を重ね追究していく科学的な探求の方法を学ぶことで、この時期の児童の好奇心や知的態度の育成に寄与する。(第1号)また、この教材を通して環境保護への関心を高めることができる。(第4号) ●『ウミガメの命をつなぐ』は、生物に視点を置いて未知の事象を解明する科学的な思考や、その取り組みを読み解くことを通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) ●『「便利」ということ』は、事実に対する意見やその根拠をあげながら論理的に追求していく文章である。「便利」をキーワードに、バリアフリーについて考えることを促し、公共の精神に基づき、主体的に社会形成に参画する態度を育てる。(第3号) ●詩は豊かな情操を養うよう、多様な教材の選定を行っている。『春のうた』は言葉のリズムを楽しんで音読することができ、『あり』は軽快なナンセンス詩のおもしろさを味わうことができる。(第1号) ●『いろいろな詩』は短い詩を複数集め、『おおきな木』『とびばこ だんだん』では、字面の景色を楽しめる詩を二編並べている。見た目も声に出しても豊かに味わえる詩を通して、豊かな情操を育てることができる。(第1号) 	上 P10-11, P12, P14-27, P34-35, P36-45, P74-91, P108-121 下 P6-27, P46-57, P72-73, P74-75, P76-77, P84-93, P116-141, P144-153

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

ユニバーサルデザインへの配慮

学びに向かう力を大切に、できるだけ図や表、写真や絵を用いて、学習内容が端的につかめるように教材の構成や紙面をデザインしています。

◇特別支援

特別支援が必要な学習者への配慮として、全体を通しての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけ、フォントには、ユニバーサルデザインに配慮した、新しい教科書体を使用しています。

◇カラーユニバーサル

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇多様性への理解・パラリンアート

社会の多様性にふれ、さまざまな人々と共存・共生しているという実感を得られるような教材を選ぶとともに、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

◇分冊による軽量化

子どもの身体の発達状況を考慮して、全学年を分冊とし、1冊あたりの重量が軽い教科書にしています。分冊としたことにより、全体のページを増やし、単元とびらやてびき、付録を充実させています。

他教科との連携

◇教科間の連携

中・高学年では、他教科と同じテーマについて、国語科としての見方・考え方を働かせることによって、論理の展開や思考の組み立てなど、学びの基礎を育む構成にしました。

*学習する内容の連携

同じ教材や題材、学習内容を、他教科と連携して扱えるような工夫をしています。

- ・ぞうの重さを量る（＝算数） ・工場の見学報告（＝社会） ・月の異名（＝理科）
- ・『雪（文部省唱歌）』（＝音楽）

*教科を横断したテーマの設定

学習指導要領で重視されているテーマを、教科横断的に扱えるようにしています。

*育てたい資質・能力の連携

各教科で扱える以下のような資質・能力を、教科書の中で育めるように意識しました。

- ①言葉で表す力（言語的リテラシー）
- ②自ら考える力（論理的思考力・問題発見解決能力・メタ認知力）
- ③共に学ぶ力（人間関係形成力）

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-85	小学校	国語科	国語	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 405 国語 406	ひろがる言葉 ひろがる言葉	小学国語 小学国語	四上 四下

1. 編修上特に意を用いた点や特色

言葉による「見方・考え方」を豊かに育み、意味ある言語活動を通して、言葉の力としての「資質・能力」を身につけていくため、学習指導要領の各内容を最大限に生かす単元、およびその学習過程を設定し、次のような、学び手や教師が手に取って使いたくなるような教科書となることを目指しました。

- ・何をどのように学び、何ができるようになったのかがわかる教科書
- ・主体的・対話的な学びを促す言語活動を通して、深い学びを実現する教科書
- ・言葉を学ぶことの楽しさを実感できる教科書
- ・感動する教材と出会い、言葉に対する感性を磨くことができる教科書
- ・現代社会の今日的課題と同期する教科書
- ・優れた言語文化にふれて、日本人としての豊かな心を育む教科書

単元構成

・教科書全体を、形式を整えることにとらわれることなく、**学習の目標と活動が最大限にいきるような構成**にしました。

・各教材の特性を生かすため、**単独の教材で単元にしたり、複数教材を組み合わせて領域融合的な単元としたりして、多様な単元の構成**としました。

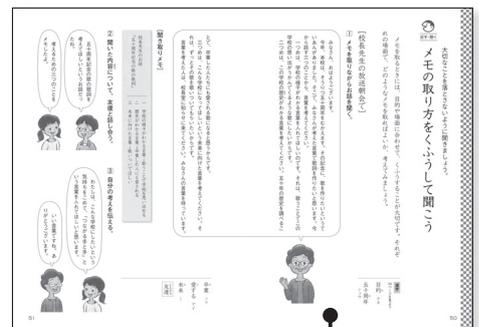
- ⇒ 『白いぼうし』(四上)・『ごんぎつね』(四下)
- ⇒ 「写真などの図のよさを知り、活用しよう」(四上)
- ⇒ 「自分の経験と結びつけて考えよう」(四下)

・学習の流れを踏まえ、**知識・技能の向上に活用**できるよう、単元と単元の間に小単元的な教材を配置しました。

- ⇒ 『漢字辞典の引き方』(四上)
- ⇒ 『「読書発表会」をしよう』(四下)

・各学校での**カリキュラム・マネジメントに資する**よう、柔軟に扱える教材を配しました。

- ⇒ 『メモの取り方をくふうして聞こう』(四上)
- ⇒ 『漢字辞典で遊ぼう』(四下)



単元内容

- ・ 学習過程を明確にした教材を配置するとともに、**重点的に扱う学習の過程を設定して**、知識・技能を効率よく学べるようにしました。その一方で、学んだ知識や技能が、**生活のさまざまな場面で生きて働く力**となるための配慮も行っています。

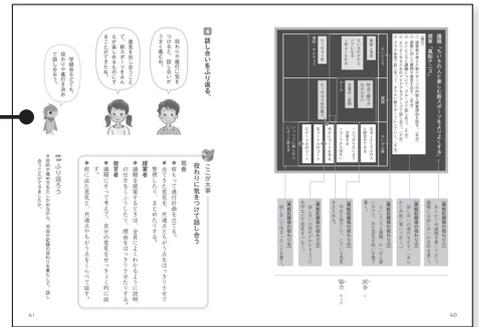
⇒ 『「便利」ということ（学習のてびき）』（四下）

『調べてわかったことを発表しよう』（四下）



- ・ 多様で活発な言語活動で、「言葉の力」を高めることができるように配慮しました。

⇒ 『新スポーツを考えよう』（四下）



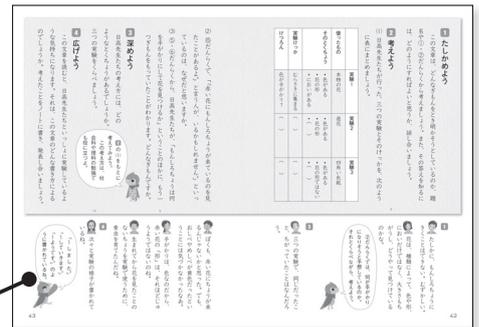
- ・ 確実に身につけたい「言葉の力」については、各教材の「**ここが大事**」に端的にまとめています。

主体的・対話的で深い学びのために

- ・ 学習者が主体的に学習に取り組み、また自学もできるように、**学習の課題をわかりやすく可視化する工夫**を取り入れました。

- ・ 「学習のてびき」では、身につけたい言葉の力に対して**適切な言語活動**を設定するとともに、言語活動そのものが、**自ら課題を見つけ、それを解決する過程**となり、深い学びに結びつくことを意識して構成しています。

⇒ 『花を見つける手がかり（学習のてびき）』（四上）



- ・ 親しみやすいキャラクター等を用いて、**学習者の思考の深まりを支援し、主体的・対話的な学びへの道筋**をつけています。



見通しをもったり、振り返ったりするために

- ・教科書巻頭の「四年生で学ぶこと」と学年末の「国語の学習 これまでこれから」により、1年間の学びの見通しと振り返りができるようにしています。



- ・「単元とびら」により、学習への意欲を喚起し、その単元に積極的に取り組もうとする姿勢を促します。



言語文化を継承し、担い手になっていくために

- ・日常生活の中で、言語文化を意識したり、見直したりできるように配慮しました。

⇒『「月」のつく言葉』（四上）

『故事成語』（四下）

『「百人一首」を読もう』（四下）

- ・言語文化をただ受け取るだけでなく、その担い手となる自覚をもてるように活動的教材を配しました。

⇒『「ショートショート」を書こう』（四上）



語彙を増やし、情報を適切に扱う

- ・語彙を質、量ともに充実させる教材を拡充しました。また、情報の扱い方に関する教材を配置しています。

⇒『言葉の木』（四上下）・『言葉のまとめ』（四上下）・『自分の考えを整理する』（四下）

他教科との関連、基礎教科としての位置づけ

- ・国語は言葉の働きについて学ぶ教科であるということを意識して、全ての教科の基礎となる言葉の知識・技能を明確に示しました。

- ・他教科の学習との関連にも配慮しています。

⇒『リーフレットで知らせよう』（四上）

- ・調べ学習など、他教科への学習の広がりを意図した教材も配置しました。

⇒『分類をもとに本を見つけよう』（四上）



2. 対照表

教材名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時間
	知識・技能	思考・判断・表現		
四上				
言葉に親しもう わたしは、だあれ 春のうた あり	(1)ア (1)ク	A(1)エ A(2)イ C(1)エ C(2)イ	P8-9 P10-11 P12	2 (話聞2) 2
一 場面の様子や、登場人物の気持ちを想像しながら読もう 白いぼうし	(1)オ	B(2)ウ C(1)イ, エ C(2)イ	P14-27	10 (書<3)
ぴったりの言葉, 見つけよう	(1)ア, ウ	B(1)ア B(2)ウ	P28-29	4 (書<4)
漢字の広場 ① 漢字の部首	(3)ウ		P30-31	2
三年生で学んだ漢字 ①	(1)エ	B(1)オ B(2)ウ	P32	2 (書<2)
二 けっかどけつろんのつながりをとらえよう ぞうの重さを量る 花を見つける手がかり 分類をもとに本を見つめよう	(1)カ (2)ア (1)カ (2)ア (2)ア, イ	C(1)ア C(2)ア B(2)ア C(1)ア, ウ C(2)ア C(1)ウ C(2)ア, ウ	P34-35 P36-45 P46-49	2 10 (書<3) 4
メモの取り方をくふうして聞こう	(2)イ	A(1)エ A(2)ア	P50-53	3 (話聞3)
漢字辞典の引き方	(2)イ		P54-57	2
三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう リーフレットで知らせよう	(1)ウ	B(1)イ, ウ, エ B(2)ア	P58-63	10 (書<10)
短歌の世界	(3)ア	B(1)ウ B(2)ウ	P64-69	4 (書<1)
漢字の広場 ② 漢字の音を表す部分	(3)ウ		P70-71	2
三年生で学んだ漢字 ②	(1)エ	B(1)ウ B(2)ウ	P72	2 (書<2)
四 登場人物のせいこくや, 気持ちを想像して読もう ぞろぞろ (落語)	(1)イ	A(1)ウ A(2)ア C(1)イ, エ C(2)イ	P74-91	10 (話聞2)
「夏の思い出」記者になろう	(1)ア	A(1)エ A(2)ア	P92-93	1 (話聞1)
五 写真などの図のよさを知り, 活用しよう 写真をもとに話そう 新聞を作ろう	(1)イ (1)ウ (2)ア	A(1)イ, ウ A(2)ア B(1)ウ, エ B(2)ア	P94-97 P98-101	6 (話聞6) 5 (書<5)
漢字の広場 ③ 送りがなのつけ方	(1)ウ, オ		P102-105	3 (書<1)
三年生で学んだ漢字 ③	(1)エ	B(1)ウ B(2)ウ	P106	2 (書<2)
六 場面の様子をくらべて読み, 感想をまとめよう 一つの花	(1)オ (2)ア	B(1)ア, ウ, オ B(2)ウ C(1)エ, オ C(2)イ	P108-121	9 (書<2)
いろいろな手紙を書こう	(1)キ	B(1)エ B(2)イ	P122-123	2 (書<2)
修飾語	(1)カ		P124-125	2
七 自由に想像を広げて書こう 「ショートショート」を書こう	(1)ウ	B(1)ア B(2)ウ	P126-131	6 (書<6)
「月」のつく言葉	(3)ア	B(1)ア B(2)ア	P132-133	1 (書<1)
四下				
一 場面のうつり変わりど結びつけ, 登場人物の変化を読もう ごんぎつね	(1)オ (2)ア	B(1)イ, ウ, オ B(2)ウ C(1)エ, オ C(2)イ	P6-27	8 (書<2)
「読書発表会」をしよう	(2)イ (3)オ	C(1)カ C(2)イ, ウ	P28-31	5
言葉が表す感じ, 言葉から受ける感じ	(1)ア	A(1)イ A(2)ウ	P32-35	4 (話聞1)

二 目的や進め方をたしかめて話し合おう 新スポーツを考えよう	(2)ア, イ	A(1)オ A(2)ウ	P36-41	8 (話聞8)
漢字の広場 ④ いろいろな意味を表す漢字	(1)エ		P42-43	2
三年生で学んだ漢字 ④	(1)エ	B(1)オ B(2)ウ	P44	2 (書<2)
三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ	(2)ア, イ	B(1)イ, ウ, オ B(2)ア C(1)ウ, オ C(2)ア	P46-57	9 (書<2)
二つのことがらをつなぐ	(1)カ		P58-59	2
四 調べたことをわかりやすく書こう 「不思議ずかん」を作ろう	(2)イ	B(1)エ, オ B(2)ア	P60-65	6 (書<6)
故事成語	(3)ア	B(1)ウ B(2)ア	P66-71	4 (書<1)
◆詩を楽しもう いろいろな詩 おおきな木 とびばこ だんだん	(1)ク	C(1)カ C(2)イ	P72-73 P74-75 P76-77	2
漢字の広場 ⑤ 熟語のでき方	(1)エ		P78-79	2
三年生で学んだ漢字 ⑤	(1)エ	B(1)ア B(2)ウ	P80	2 (書<2)
五 自分の経験と結びつけて考えよう 身のまわりの「便利」なものを考えよう 「便利」ということ	(2)ア (2)ア, イ (3)オ	A(1)ア A(2)ウ B(1)イ, ウ, オ B(2)ウ C(1)オ, カ C(2)ア, ウ	P82-83 P84-93	1 (話聞1) 6 (書<1)
調べてわかったことを発表しよう	(2)イ	A(1)ウ A(2)イ	P94-101	8 (話聞8)
点 (.) を打つところ	(1)ウ		P102-103	2
六 伝えたいことをはっきりさせて書こう 自分の成長をふり返って	(1)ウ, カ	B(1)ウ, エ, オ B(2)ア	P104-109	9 (書<9)
雪	(3)イ	B(1)ウ B(2)ア	P110-111	1 (書<1)
漢字の広場 ⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け	(1)ウ		P112-113	2
三年生で学んだ漢字 ⑥	(1)エ	B(1)イ B(2)ウ	P114	2 (書<2)
七 場面のうつり変わりや、登場人物の気持ちの変化を読もう 木竜うるし (人形げき)	(1)イ	B(1)イ, ウ, オ B(2)ウ C(1)オ, カ C(2)イ	P116-141	8 (書<2)
国語の学習 これまで これから	(1)イ	A(1)ウ A(2)ア B(1)ウ B (2)ア	P142-143	2 (話聞1, 書<1)